



ことばい 言問団子

江戸期からの老舗。厳選された最高級の素材を使い、ていねいに仕上げられた逸品は、墨堤を楽しむ町民に愛され続けた。

TEL 03-3622-0081 墨田区向島5-5-22 営業時間9:30~18:00 火曜定休



向島百花園

江戸期の文人墨客に親しまれた向島百花園。いまでも四季折々の山野草が園内を彩り、茶亭もあって墨東の名勝のひとつとなっている。

TEL 03-3611-8705 墨田区東向島3 開園時間9:00~17:00 年末年始休園

向島界隈 まち歩き案内

ろじまん 路地琴プロジェクト
上からひしゃくで水をかけると、壺の中で美しい音色を奏でる据え置き型の水琴壺(すいきんくつ)。向島のあちこちに設置されています。



長命寺 桜もち

明治の佛聖正岡子規も愛した桜もちは、享保2年から300年近くも続く名物。桜の葉は食べずに香りを楽しむのが通といわれている。

TEL 03-3622-3266 墨田区向島5-1-14 営業時間9:00~18:00 月曜定休



隅田川 桜橋のたもと

Y字型の大胆なデザインで話題を呼んだ歩行者専用橋 桜橋。早慶レガッタの絶好の観戦ポイントとしても有名。



ひよこ豆のカレーセット



アート&カフェ こぐま

古本とギャラリーのあるカフェ。木造の長屋を活用して若い人たちに一躍人気の店となった。(鳩の街通り商店街)

TEL 03-3610-0675 墨田区東向島1-23-14 営業時間10:30~18:30 火曜・水曜定休 <http://www.ko-gu-ma.com/>

向島 料亭街

東京随一の花街である向島には、現在18軒の料亭がある。築地塀や生垣の向こうから三味線の音が響いてきそう。

向島墨堤組合
TEL 03-3623-6368 墨田区向島2-9-9 営業時間11:00~17:00



まねき屋(京小間物)



料亭 すみ多



向島うたがや

花街に欠かせない足袋。老舗らしい情趣ある店構えて、地元芸妓衆の身支度に応えている。

TEL 03-3626-1413 墨田区向島5-27-16 営業時間8:00~18:00 日曜・祝祭日定休



高木神社

応仁二年の創建と伝えられ、旧寺島新田の鎮守として敬われてきた。境内の狛犬が左右同形で阿吽の区別がないのが特徴とされている。

TEL 03-3611-3459 墨田区押上2-37-9

本格的な江戸の和菓子店「菓匠 青柳正家」。料亭と並んで向島のまちなみの風格を保っている。



いまでも健在なお豆腐屋さん。懐かしいラッパの音を路地に響かせながらまちをまわっている。



夕暮れを迎えたまちは、懐かしく暖かい雰囲気にも包まれる。

上：店先では世間話に花が咲く。(鳩の街通り商店街)
下：居酒屋の賑やかな声が路地には返る。(曳舟駅前)

文人墨客との交流によって花ひらいた向島も、多彩な江戸の職人文化によっても支えられてきたことを見逃せません。江戸切子、江戸簪、江戸小紋、桐箆、押絵、羽子板など伝統の技は現代にまで受け継がれ、江戸の「粋」をいまに伝えていきます。地元の墨田区が力を入れている、羽子板資料館、古伊万里資料館、江戸木目込人形博物館など、数多くの「小さな博物館」では、いつでもこのまちの歴史と文化を伝える技と作品に出会えます。

抱一らが愛した「風光明媚」、花街がもたらした荷風が愛した「艶」、そして実直な職人文化を伝える「江戸の技」。それらが雑然とはあるもののゆるやかに共存してきた向島は、真に懐が深いまちといえるでしょう。いまでも、まちをひと巡りすれば、塀や建物に由緒を感じさせる老舗料亭と、庶民的な赤提灯が仲良くひしめきあっている情景を見ることができ、昔ながらの気さくな商店街、いまでも残る長屋の佇まい、さらには路地に張り出した色鮮やかな植え込みなど、庶民の暮らしの息吹がいまも伝わっています。江戸の昔でも、庶民はきつこのようにまちや路地の暮らしを楽しんでいたに違いなく、想像しながらの散歩は、ちよつとしたタイムスリップを味わせてくれます。

CHECK!

今回ご紹介した東京スカイツリー建設に期待の集まるこのエリアにおいて、UR都市機構では「曳舟駅前地区」の再開発事業、「押上・業平橋駅周辺地区」の土地区画整理事業の総合支援を行っています。

2地区の事業について17ページより特集しています。

東京スカイツリーCG提供：東武鉄道(株)・東武タワースカイツリー(株)



東武伊勢崎線のガードに沿う十間堀川。枕橋のたもとには昔ながらの屋形船が浮かび、夕闇せまると灯をつけて隅田川に練り出していく。



墨田の産業と文化をPRするために区内に点在する「小さな博物館」。伝統の技術やコレクションを無料で見るができる。

板壁と植栽に囲まれた長屋が、大正、昭和のまちの風情を漂わせる。

まちなかから一歩外へ足をのばせば、隅田川べりの美しい水辺の景色がひろがり、水戸徳川家のお屋敷跡である「隅田公園」では、典型的な日本庭園がしつらえられていて、まさに「風光明媚」な風景が楽しめます。浅草の喧嘩から一歩身を引いてゆったりと川向こうの文化を育んできた向島。その豊かな文化をさりげなく伝えてきた向島。そこには大人のまちの文化の粋と誇りがあるようにも思えます。

いま、東京スカイツリーの建設で注目を浴びるこのまちですが、すでに曳舟駅前では都市再開発が進んでいます。開発によって昔ながらのまちが随分と変節するのではないかと、いった心配はここでは無用でしょう。江戸期より引き継がれてきたまちの気風は、新しいまちの根元にもしっかりと根を張っていますから。